

たすけあいの会をもう一度！
考えて下さい



枚方市選挙区 総代
阪本 敬子さん

「くらしのたすけあいの会」は、住み慣れた地域で困った時に、組合員どうしがたすけあう活動をして今年で18年目。利用会員からは感謝の声、活動会員からは「喜んでもらえて嬉しい」の声があります。話し相手・家事お手伝い・子育て家庭の援助など昨今のニーズは多様化。できるだけお応えするため、みなさんもう一度「たすけあいの会」を考えてみて下さい。

住みなれた地域で豊かなくらしを実現していくには



大阪A選挙区 総代
木下 真弓さん

住みなれた地域で心豊かに生きていくように協力しあいましょう。と「くらしのたすけあいの会」が18年前にスタートしました。協力できる所はさせていただける人の輪を作っていきなさいと考えています。ぜひ会員になって活動してください。安心して老後を地域で生活していくためにも、福祉の分野にも力を入れ、国に対しても声をあげていくべきだと考えます。

活動に参加するために



枚方市選挙区 総代
坂口 光江さん

私が活動する地域活動委員会には、高齢者・介護認定を受けている方々がいます。身体が少々不自由でも生協活動に参加して学びたい」の声を聞き、どうすれば共に参加していただけるか話し合ってきました。各年代の人が集い会話を楽しみ、悩み事を少しでも解決していくことも大切ではないかと実感。活動に気軽に参加できるガイドラインづくりをお願いします。

パル委員になって



寝屋川市・守口市・門真市選挙区 総代
柏原 三枝子さん

子どものアレルギースキをきつかけに、食品添加物に興味を持ちました。委員会では、視覚障がいをお持ちの組合員さんに向けて、QRシールの発行やメールで請求明細の配信ができる仕組みを開発中です。完成次第、ぱるタイム・ホームページなどでお知らせしてまいります。TPPは国内での食糧生産をさらに困難にします。遺伝子組み換えでない国産飼料を使った、産直牛乳などの商品の存続には組合員さんの利用が必要になります。基金など、生産者の生産の意欲と継

新しい
大阪市まちづくり連絡会



大阪A選挙区 総代
古田 祥子さん

大阪市まちづくり連絡会を5つのブロックに分けるという提案に、私たち地域活長は戸惑いました。反対の声もあり、納得いくまで約3カ月。過去の組織状況を勉強し、何度も話し合いを重ねました。この新年度より、私は5つのうち1ブロックのくらし担当として活動を始めることになりました。不安もありますが、仲間と力をあわせ精一杯頑張ってみようと思います。

みんなのパワーで
いきいき活動をすすめよう!!



寝屋川市・守口市・門真市選挙区 総代
池原 房子さん

2003年「ひとり子育てからみんなで子育て」の輪が広がっています。また、地域でも商品や環境、平和などの活動を通して、いろいろな年齢層の組合員との交流が広がってきました。今後もみんなのパワーを寄せ合って明るい笑顔が溢れる活動を強めていきたいと思います。

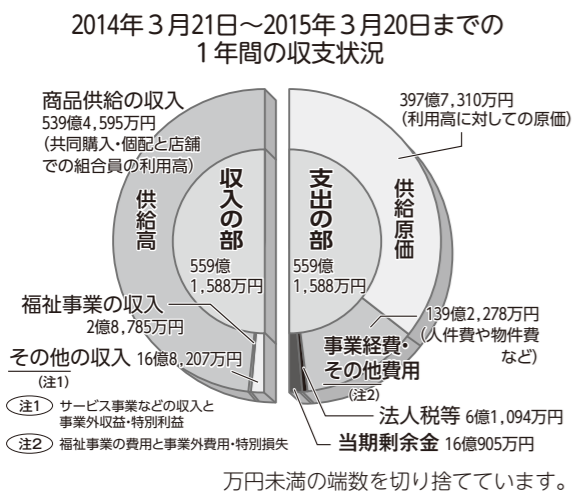
組合員活動の素晴らしさを
伝えていきましょー！



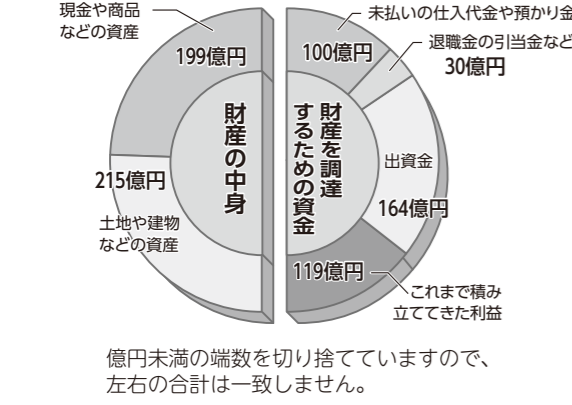
大阪A選挙区 総代
板戸 佳鶴さん

私は組合員活動が一般の組合員さんにあまり知られていないと感じています。多くの組合員さんが組合員活動の素晴らしさ・大切さを理解し、積極的に参加できるよう活動そのものをさらに推進していくことが必要。多くの可能性を持った組合員活動をみんなの力でより大きく進め発展させていきたいと思います。少子高齢化が急速に進んでいる地域社会に貢献できると思います。

2014年度 事業の結果



2015年3月20日現在のパルコープの財産 415億円



2015年度 事業計画

供給高計画		
共同購入事業	453億	円
内) 班	200億	円
内) 個配	248億	円
内) 生活サポート	5億	円
店舗事業	93億	6,000万円
2015年度計画	546億	6,000万円

発言を受けての理事会のまとめ(要旨)

文書発言を含めて42件の発言がありました。具体的な改善要望については、その真意に込められるよう、今年の事業の中で努めてまいります。

商品事業について
14年度の子育てファミリー層の1世帯あたりの利用高は、他の世代層の伸びに比べ、低い伸びにあります。徳用ファミリーサイズの容量でより安く提供できる商品を増やしたり、個配手数料の引き下げを検討し、次年度以降も利用しやすい状況を探求していきます。

また、安心してご利用いただくため、注文商品一覧が注文控えとしてメールで届く、「お知らせメール」は個配・班も対象にすすめていきます。

店舗では、商品の鮮度やおいしさ、温かい接客を評価いただき、出店の要望もいただきました。引き続き、既存店で磨きをかけ、まず大阪市南部で準備をすすめます。

ボランティアチームでは、視覚障がいをお持ちの組合員さんに向けて、QRシールの発行やメールで請求明細の配信ができる仕組みを開発中です。完成次第、ぱるタイム・ホームページなどでお知らせしてまいります。

TPPは国内での食糧生産をさらに困難にします。遺伝子組み換えでない国産飼料を使った、産直牛乳などの商品の存続には組合員さんの利用が必要になります。基金など、生産者の生産の意欲と継

続くにつながらる施策については生産者とさらなる交流を通して模索していきます。

パルコープの商品開発や品揃えのあり方について、これからもパルコープ独自の安全基準・商品政策に基づいてすすめてまいります。高齢化、働く女性が増加する中、これまで通り素材の充実拡大につとめるとともに、時間短縮や少量化の要望にも可能な限り応えていきたいと考えています。

組合員活動について
要介護の組合員さんの対応は、専門資格が必要であり、参加される本人・ご家族の準備がなければ、活動参加は難しくなります。そのことを含め、ガイドラインを整備していきます。

被災地支援、電力自由化について
4年目を迎える東北被災地支援は、「これからも忘れない」との思いでとりにくいままです。大阪府生協連の「福島子ども保護プロジェクト」の活動に引き続き応援していきます。

電力の自由化については、原子力発電に頼らないエネルギー転換のために、引き続き組合員さんと共に学習を深めていきます。

総代会アピール

生活協同組合おおさかパルコープは、よりよいくらしと平和を願う大阪のお母さんたちがつくった消費者の組織です。くらしに役立つ商品やしくみの改善を、組合員と生産者・メーカーのみなさんとの相互理解で実現してきました。

今年は、戦後70年の節目の年です。戦争の悲惨さや、苦しい生活に直面して、戦後の日本の生協は「平和とよりよい生活のために」の理念をかかげて生まれました。高度経済成長期には環境や食品の公害があいつぎ、石油ショックによる物不足もおこる中、市民の生活向上をめざして各地に市民生協が生まれました。おおさかパルコープもそのひとつです。これからも、出資、利用、運営参加の生協の三原則を大切に、協同組合らしくすすめていきます。

今、わたしたちのくらしは、物価はあがり、消費税は増税され、実質賃金はさがり、社会保険料の負担が増え、年金が減額されるなど、先行きが不透明です。また、社会に目をむけると、格差の拡大、こどもの貧困、原発の再稼働など課題が山積みです。

とりわけ、日本の食糧をになう生産現場は、TPPによって、その存続があやぶまれています。東日本大震災の被災地では、4年を過ぎた今でも仮設住宅にくらす方も大勢おられ、生活の不安が続いています。積極的平和主義の名のもと、集团的自衛権や武器輸出禁止が見直され、今後の日本の平和のあり方を左右する大きな岐路に立たされています。

わたしたちひとりひとりが、自分や今のことだけでなく、こどもたちや孫たち、未来を生きる人たちのことに思いをめぐらせて、考え、判断していきましょう。マスコミの情報だけにまどわされず、これまで以上に多くの人たちと対話しながら、学び合い助け合っていきましょう。

2015年6月2日
生活協同組合おおさかパルコープ通常総代会